

豆田町並み通信

第79号

発行者
豆田町
伝建保存会
30年7月

豆田町伝建保存会第十四回総会開催

六月十二日（火）若の屋にて、第十四回の豆田町伝建保存会通常総会が実出席七十六名、委任出席七十三名の参加で行なわれました。

挨拶に立った波多野平副会長は「建物修理・修景にこの十三年間、七十三件の修理が行われ、約四億四〇〇〇万円の公費が投入されて、歴史的町並みの整備が進んできました。」とこれまでの経緯を報告しました。



総会にて来賓挨拶を行う原田啓介市長

続いて挨拶に立った原田市長は、「先に日田市で行われた全国大会では皆さんの協力により、成功裡に終了する事ができました。寄せられたアンケートによれば、大変なおもてなしを頂き非常に感激したと報告を受けています。」と感謝とお礼の挨拶を行いました。

この後議案審議に入り、豆田町を取り巻く地域の景観形成の在り方や、来年に予定される伝建地区選定十五周年にむけての取り組みなどが論議されました。最後に監事として活躍された石丸邦夫氏が死去した事により、後任監事として富安裕子氏が提案され、満場一致で承認されました。



基調報告を行う波多野会長代行

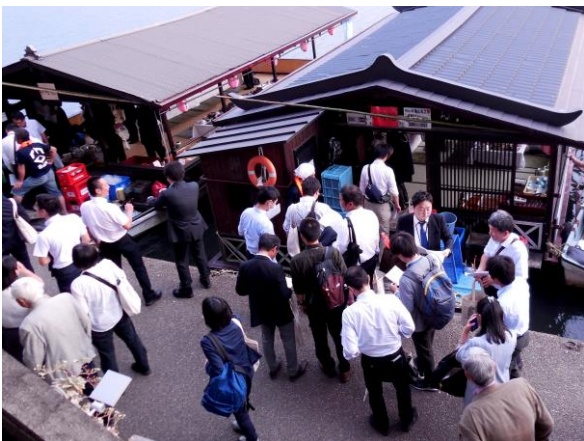
伝建全国大会が日田市にて開催！

五月三十日から六月一日までの三日間、日田市で第四〇回伝建全国大会が開催され、全国から約三〇〇名の伝建地区の住民代表や行政関係者が参加しました。

特に四〇回という区切りの大会であった事から三十日の初日の開会式では宮田亮平文化庁長官や廣瀬勝貞大分県知事も参加し大会に花を添えました。

大会では来年行われる秋田県横手市の事例報告や昨年日田市で起こった九州北部豪雨災害の実態やその後の復旧作業の報告が発表されました。

また、夜の情報交歓会は遊船上で行われ、参加者は日田ならではの歓待に感激していました。



情報交歓会が行われる遊船に乗り込む参加者

翌日は豆田町の現地研修が行われ、参加者は草野本家の修理現場や子供ガイドが説明する廣瀬資料館や桂林荘公園や長福寺などを見て回りました。更に午後には伝建地区内での後継者問題や町並みの活性化問題についての分科会が開催されました。



子供ガイドの説明に聞き入る参加者



伝建地区の課題を論議した分科会

「筑後軌道と日田祇園展」開催

天領資料館では久大本線全線復旧を記念して特別展「筑後軌道と日田祇園展」を開催し、七月一日にはオープニングイベントが行われました。

挨拶を行った富安裕子観光協会会長は「昨年の北部豪雨災害からの復旧とユネスコ無形文化遺産に登録で沸いた盛り上がりでの炎を絶やさないうため、このような企画を行いました。この企画が災害復旧と日田祇園発展の一助になれば幸いです。」と挨拶されました。

この特別展は九月二日まで開催予定であり、観光協会では地元の方にも是非見ていただきたいと呼びかけています。



開会イベントで披露されたなでしこ会の演奏

杵築市より豆田に視察

六月二十九日（金）杵築市の「城下町地区まちづくり協議会」の下村亮介会長以下十一名が豆田を訪れました。

杵築市の北台・南台地区が昨年十一月に国の重伝建地区に選定され、今回訪れたメンバーはこの伝建地区に挟まれた商店の経営者が主で、伝建を活かした商店街の在り方はどうあるべきかを模索して研修に訪れました。

交流館の離れ座敷で行われた研修会には、日田市の担当者と豆伝会の木下弘一郎氏が応対し、重伝建選定に至った経緯や商店街の活動内容について説明が行われました。

「豆田では空き地・空き家対策はどうなっているのか」などの質問が出されていました。



杵築市で町づくりに励む協議会の皆さん

祇園祭準備進む!

豆田四町の山元では、六月より祇園祭典に向けての本格的作業が始まりました。

七月一日には港町・中城町でそれぞれ神事が行われ、豆田四町で一斉に小屋入り行事を行って、今年の祇園祭の成功を祈念しました。



7月1日に行われた一番山港町の花月川での棒鼻清め神事



6月30日、小野川にて行われた2番山豆田下町のお汐井採り行事

上城内祇園祭のお知らせ!!
 日時 7月21日(土) 17時~21時
 場所 上城内 堤神社境内
 催事: 屋台村(壮年会・料理教室)
 生ビール、焼酎、コーラ
 おでん、からあげ、おにぎり
 厄除けパイパイ・あやめ販売
 元方の茶菓子・お神酒の接待

四番山豆田上町のテントの建設風景



7月1日中城御旅所で行われた三番山中城町の神事